REIMEI 黎明（れいめい）

～一般社団法人　日本PVプランナー協会会報誌～　Vol.23　2021夏号

表紙写真提供
㈱イーステージ
㈱エネシス静岡
㈲ブウバアー商会

Contents

・特集／①ドローン・電線探査実証実験報告
②自家消費高圧変電所改修工事研修会
・「自家消費型太陽光発電に対する再エネ賦課金の徴収議論に関する提言書」を提出いたしました！
・会員企業訪問／㈱ビル技研
松野コンクリート工業㈱
リフェコ㈱
富岳エナジー㈱
・太陽光プロダクトニュース
／野原ホールディングス㈱
㈱横浜環境デザイン

2050年カーボンニュートラル達成に向け何ができるのか

一般社団法人日本PVプランナー協会　副理事長　山元広大

依然としてコロナ禍の状況で活動が制限される中、脱炭素社会へ向けさまざまな目標や方針が示されています。最近ではSNS上でも多くの企業がSDGsに取り組む姿勢を発信し、顧客や人材との出合いに繋げるような動きを行っています。また、多くの人の考えや行動に影響を与えている社会派インフルエンサーの発信も毎日、目にするようになりました。

2050年カーボンニュートラル達成に向け、まず2030年の再生可能エネルギー導入目標引き上げとその実現に太陽光発電のさらなる拡大が不可欠という点においてわれわれに何ができるのか?

新たな施策やビジネスモデルへの転換が求められる今、既存のシステムから省エネルギーシステムへの転換や非常時に備える蓄電エネルギーの普及、2030年半ばにはガソリン車から100%電動車にすることが検討されているため、充電インフラの普及など沢山あると思いますが、われわれEPC、施工者は業界の未来をさらに理解し、常に安心で安全な提案をエンドユーザーに提供できるよう、日々学びそして発信していくことではないかと思います。

協会活動もまだ制限がありますが、今後も会員の皆様とともに学び、ご発展に寄与できますよう、励んで参ります。

一般社団法人 日本PVプランナー協会　理念

私たちは、PV プランナー・PV システムインテグレーターの育成をおこない、太陽光発電の健全な市場発展に努めます。

その為には
1、私たちは「地球環境問題」の解決に取り組みます。
1、「販売」は、コンプライアンスを遵守します。
1、「商材説明」は、お客様に正しい知識と情報を提供します。
1、「施工」は、安全を第一に考え、お客様の家屋を守りながら、適正な発電が行えるよう努力します。
1、「アフターサービス」は、お客様のニーズに応え、素早い対応を心がけます。

以上を行い、私たち・お客様・地球が共に繁栄する「豊かな未来創り」に貢献します。

2021年度安全スローガン募集中！

協会では毎年、会員企業の皆様に職場での安全意識向上を推し進めていただくために、社内コンペによる安全スローガンを募集しています。
【施工の初心に帰れるような「安全」に関わるスローガン】を社内で募集していただき、優秀賞を社内で選出後、すべての作品と優秀作品を事務局までお寄せください。応募いただいた方全員に参加賞を、また各社の優秀作品創作の方には記念品を進呈いたします。

締め切りは10月4日（月）、皆様からのご応募お待ちしております。

優秀作品の中から最優秀作品を選び、11月26日（金）開催の第9回全国会員大会にて発表、表彰いたします。
※応募の詳細については協会ホームページをご覧ください。

事務局だより

梅雨に入って天気もはっきりしないコロナ禍の休日。家の近所を散歩してみることにしました。

隅田川神社の入り口に隅田宿跡の説明板を見つけました。宿場だったのかと思うとつい説明を読んでみたくなりました。現在地は、墨田区堤通2丁目2番 都立東白鬚公園。当時は、古代東海道の渡河地で平安時代の末頃には隅田宿は、成立していたようです。

源頼朝も布陣したといわれており、いろいろな伝説のある宿場のようです。江戸時代の東海道とは、違うルートの古代東海道。

律令社会においては、中央からの命令を地方に、地方の状況を中央にと、道路は直線で作られていたようです。その直線の中に自分の地元が入っていたと思うととても不思議な感じがしました。もっと、地元を探索してみたくなりました。　（事務局 佐野）

お問い合せは…

一般社団法人 日本PVプランナー協会

〒102-0084
東京都千代田区二番町3番地10
白揚ビル2階
TEL：03-6256-9970／FAX：03-6256-9971
Web　https://pv-planner.or.jp
Mail　support@pv-planner.or.jp

制作・編集：㈱電設出版

発電量低下の原因、見逃してませんか？

太陽光パネルの測定はソラメンテ

ソラメンテは２つのステップで、故障パネルを短時間で特定します。

ステップ -1
故障ストリング検出

開放電圧 / インピーダンス測定
ストリングチェッカー ソラメンテ -Z

ステップ -2
パネル電路探査

故障パネル電路探査
ソーラーパネルチェッカー ソラメンテ -iS SI-200

お問い合わせ
東洋計測器株式会社
〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-3-12 計測器ランドビル

TEL.03-3255-8035
FAX.03-3255-8076
URL:https://www.keisokuki-land.co.jp/

株式会社アイテス
〒520-3031 滋賀県栗東市綣 1 丁目 17-8-501 栗東事業所
製品開発　TEL.077-599-5040　FAX.077-554-6173
URL: www.ites.co.jp　e-mail: sales02@ites.co.jp

YouTube にて
太陽光メンテナンス情報を発信中！
ITES.Solamente　検索

「自家消費型太陽光発電に対する再エネ賦課金の徴収議論に関する提言書」を梶山経済産業大臣宛・小泉環境大臣宛で6月7日担当部局に提出いたしました！

提言書の提出

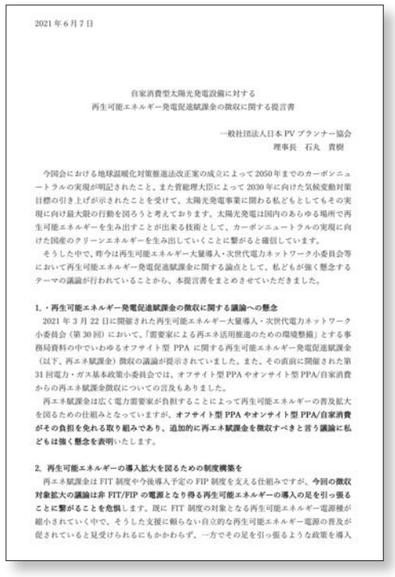
提出に至る経緯

当協会は2012年の設立時よりエネルギーの地産地消を進めるべく住宅用太陽光発電設備の普及活動を行い、FIT法施行前から企業（需要家）の屋根上設置による自家消費太陽光発電設備の普及活動も行ってまいりました。

そして、国策であるFIT法施行後は再エネ普及のため全量買取の野だて太陽光発電設備の普及活動に邁進してまいりました。

一方で、FIT法は再エネ賦課金（国民負担）によって再生可能エネルギーの導入を促進する仕組みであるため、太陽光発電の導入拡大によって年々その負担額は増加することとなることから、再エネ賦課金を増やさない再生可能エネルギーの普及を目指すために、2018年秋より自家消費太陽光発電の普及を推進するための活動を継続的に行ってまいりました。

その甲斐もあって、ようやく2020年から再エネ賦課金に頼らない自家消費太陽光発電の設置が広がり始め、本年より本格的に普及が始まったこのタイミングで、自家消費太陽光発電設備に対する再エネ賦課金の徴収を検討すべきという議論が経済産業省の委員会の中で行われたことに対して大いに懸念を抱いたことから、今回の提言書の提出に至った次第です。



2021 年 6 月 7 日

自家消費型太陽光発電設備に対する
再生可能エネルギー発電促進賦課金の徴収に関する提言書

一般社団法人日本 PV プランナー協会
理事長　石丸　貴樹

今回会における地球温暖化対策推進法改正案の成立によって 2050 年までのカーボンニュートラルの実現が明記されたこと、また菅総理大臣によって 2030 年に向けた気候変動対策目標の引き上げが示されたことを受けて、太陽光発電事業に関わる私どもとしてもその実現に向け最大限の行動を図ろうと考えております。太陽光発電は国内のあらゆる場所で再生可能エネルギーを生み出すことが出来る技術として、カーボンニュートラルの実現に向けた国産のクリーンエネルギーを生み出していくことに繋がると確信しています。

そうした中で、昨今は再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会等において再生可能エネルギー発電促進賦課金に関する論点として、私どもが強く懸念するテーマの議論が行われていることから、本提言書をまとめさせていただきました。

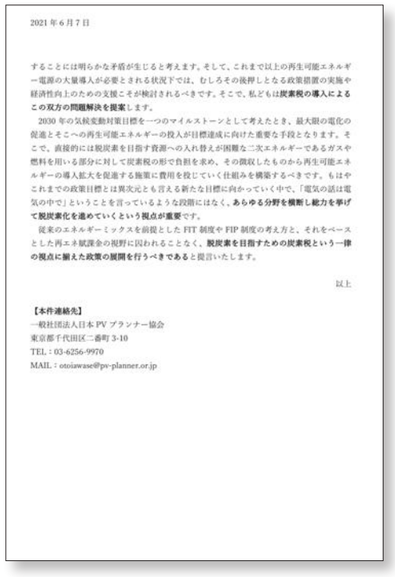
1.・再生可能エネルギー発電促進賦課金の徴収に関する議論への懸念

2021 年 3 月 22 日に開催された再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会（第 30 回）において、「需要家による再エネ活用推進のための環境整備」とする事務局資料の中でいわゆるオフサイト型 PPA に関する再生可能エネルギー発電促進賦課金（以下、再エネ賦課金）徴収の議論が提示されていました。また、その直前に開催された第 31 回電力・ガス基本政策小委員会では、オフサイト型 PPA やオンサイト型 PPA/自家消費からの再エネ賦課金徴収についての言及もありました。

再エネ賦課金は広く電力需要家が負担することによって再生可能エネルギーの普及拡大を図るための仕組みとなっていますが、**オフサイト型 PPA やオンサイト型 PPA/自家消費がその負担を免れる取り組みであり、追加的に再エネ賦課金を徴収すべきと言う議論に私どもは強く懸念を表明**いたします。

2. 再生可能エネルギーの導入拡大を図るための制度構築を

再エネ賦課金は FIT 制度や今後導入予定の FIP 制度を支える仕組みですが、**今回の徴収対象拡大の議論は非 FIT/FIP の電源となり得る再生可能エネルギーの導入の足を引っ張ることに繋がることを危惧**します。既に FIT 制度の対象となる再生可能エネルギー電源種が縮小されていく中で、そうした支援に頼らない自立的な再生可能エネルギー電源の普及が促されていると見受けられるにもかかわらず、一方でその足を引っ張るような政策を導入



2021 年 6 月 7 日

することには明らかな矛盾が生じると考えます。そして、これまで以上の再生可能エネルギー電源の大量導入が必要とされる状況下では、むしろその後押しとなる政策措置の実施や経済性向上のための支援こそが検討されるべきです。そこで、私どもは**脱炭素化の導入によるこの双方の問題解決を提案**します。

2030 年の気候変動対策目標を一つのマイルストーンとして考えたとき、最大限の電化の促進とそこへの再生可能エネルギーの投入が目標達成に向けた重要な手段となります。そこで、直接的には脱炭素を目指す資源への入れ替えが困難な二次エネルギーであるガスや燃料を用いる部分に対して炭素税の形で負担を求め、その徴収したものから再生可能エネルギーの導入拡大を促進する施策に費用を投じていく仕組みを構築するべきです。もはやこれまでの政策目標とは異次元とも言える新たな目標に向かっていく中で、「電気の話は電気の中で」ということを言っているような段階にはなく、**あらゆる分野を横断し総力を挙げて脱炭素化を進めていくという視点が重要**です。

従来のエネルギーミックスを前提としたFIT 制度や FIP 制度の考え方と、それをベースとした再エネ賦課金の現野に関わることなく、**脱炭素を目指すための炭素税という一律の視点に新たな政策の展開を行うべきである**と提言いたします。

以上

【本件連絡先】
一般社団法人日本 PV プランナー協会
東京都千代田区二番町 3-10
TEL：03-6256-9970
MAIL：otoiawase@pv-planner.or.jp

2021年4月20日ドローン検査・電線探査検査比較実証実験を行いました

2021年6月23日 WEBにてドローン検査・電線探査検査比較実証実験報告会も開催いたしました。

◆ドローン検査と電線探査検査の比較実証実験報告

点検背景と目的

ESG投資対策などにより脱炭素経営、RE100化が求められる中、今までの地上太陽光発電の設置とともに自家消費太陽光発電の設置が増えてきています。しかし、屋根上設置の場合、モジュールに容易に近づけない状況があることが多い。また、地上設置のO&Mをおこなう際に、IR検査を人力にて検査する場合は、時間とコストがかかるため、ドローンIRでの検査により、コスト削減に寄与できる可能性について検証するため、今回の検査をおこないました。

この検査の目的は、上記のような仮説に基づき、ドローンIRの有効性を証明することであり、有効性を確認する手法として電線探査機器を利用しました。

点検場所

点検概要

■ドローン IR（サーモグラフィー）検査

ホットスポットやバイパスダイオードが働いているセルなどの異常は発熱を引き起こすことが多く、他の箇所より温度上昇がみられる。IRカメラで撮影後、エナジーソリューションズのソフトウェアで、発見欠陥の温度差を計算し、不具合箇所の特定、不具合内容について特定しました。

■電線探査機試験（ソラメンテ）

ソラメンテは、発電出力が1/3減少するクラスタ故障を中心に検出、特定するよう設計されています。故障ストリングを検出できる機械です。

点検結果

ドローンＩＲ不具合と電線検査試験の不具合比較

《ドローンIR検査による不具合事例表》

H:	部分高温・発熱（セルクラック・汚れ・影等の可能性）
C:	クラスタ異常（断線・半田外れ・バイパスダイオード故障（開放・ショート）等の可能性）
J:	ジャンクションボックス部分高温（ジャンクションボックス異常等の可能性）
M:	モジュール全体高温（ガラス割れ・バックシート異常・PID等の可能性）
S:	ストリング全体高温（コネクタ・ケーブル損傷・接続箱開放等の可能性）

Hの部分高温は、汚れなどの可能性が高いため、C，J，M，Sの不具合について、電線探査検査（ソラメンテ）の不具合と照らし合わせてみました

C：クラスタ異常
J：ジャンクションボックス部分高温（今回の検査では検出されず）
M：モジュール全体高温
S：ストリング全体高温（今回の検査では検出されず）

①ドローンIR検査結果

■ 全量太陽光発電システム

クラスタ異常	25
部分高温	55
モジュール高温	5

クラスタ異常とモジュール高温異常のパネルをストリングごとで数えたら22ストリングとなった。

■ 自家消費太陽光発電システム

部分高温	27

②電線探査機検査結果

■ 全量太陽光発電システム

ストリング異常	22

■ 自家消費太陽光発電システム

ストリング異常	0

③ドローンIR不具合と電線検査試験の不具合比較

ドローンIRの不具合と電線検査試験の不具合の合致率

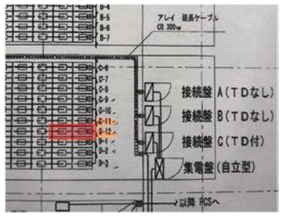
99%　ストリング数は合っているが、1箇所だけ場所（位置）が違っていた

ソラメンテ計測結果						ドローンＩＲ計測結果		
2021/4/20	10:21:41	11	477	5		C-11		C
2021/4/20	10:21:47	12	464	808	OL*	C-12		

全量側のC11とC12のストリングが入れ違いになっているのではないか？と予測、後日計測をしてみた

④全量太陽光発電所の実際のストリングと配線図との比較調査

現地にてドローンＩＲ検査の不具合と電線探査検査の不具合箇所の不一致箇所について後日検査



実際の配線工事と図面の番号と入れ違いになっており、ドローンIR検査と電線検査結果は100%一致していた

結果

今回の結果により、ドローンＩＲ検査と電線検査試験による不具合検査は有効であると証明されました。また屋根上などでO＆Mの実施が難しい場所や地上設置発電所において時間短縮・コスト削減・ミス排除ができることがわかりました。

実証実験協力会員：㈱横浜環境デザイン様、エナジー・ソリューションズ㈱様

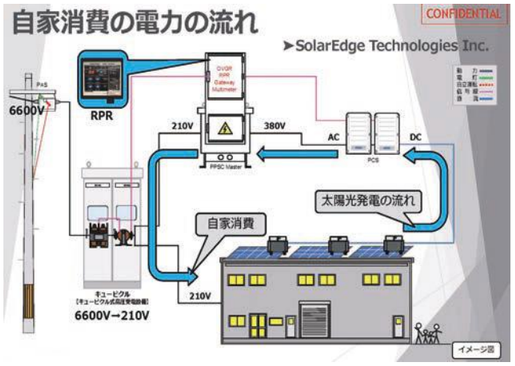
※詳細につきましては協会HPの「セミナー映像閲覧はこちら」→協会員・賛助会員→会員大会・研修会・シンポジウムに掲載中です。

2021年7月16日 自家消費太陽光・蓄電地設備構成解説と高圧変電所改修工事研修会開催

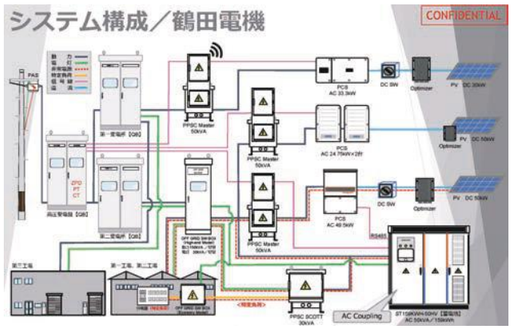
鶴田電機株式会社様（茨城県古河市）の製造工場を会場に
リアル参加とWEB参加の研修会を開催しました。

研修会会場：鶴田電機株式会社様（協会員）

1部：WEB研修会（リアル参加者も視聴）



2部：リアル参加者懇談会

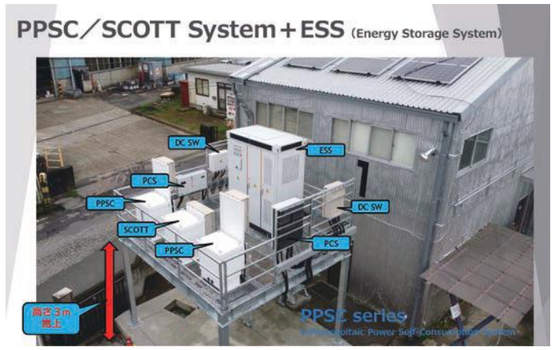


3部：リアル参加者工場自家消費設置場所見学会

製造工場見学

高圧変電所工事風景（動画視聴）

蓄電池設備見学



自然エネルギーを普及させ 美しい地球を後世に

㈱ビル技研（関東エリア会員）

測量事業で会社を設立して43年、環境事業を開始して10年を迎えることができました。測量事業では、建築測量（墨だし）を主軸に「建築の基準は正しい墨だしから」をスローガンに日々精進しており、現在も多くの建設会社様に信用していただきご愛願を賜っております。近年では施工管理補助・GPS観測・土木造成測量（丁張）業務も取り入れ、幅広い測量業務でお客様のご要望にお応えしております。環境事業では、太陽光発電を主軸に、一般住宅・事業用（工場・倉庫）・野立て・ソーラーシェアリング等の建設工事や補修工事を測量技術を活かして行っております。

近年、自然が猛威を振るう中、私たちが建設した発電所が暴風や雪害で破壊されております。しかし、これからも脱炭素社会に向けて再生可能エネルギーを普及させなければなりません。私たちビル技研は、さまざまな特許製品を開発しております。写真の被せフランジは現場の状況で高さ調節が可能なフランジです。最近の豪雪被害で沈下した杭や勾配で苦戦する箇所の対応で活躍しております。この部材を使用した「Made In Japan」の架台をデビューさせ、自然災害に強い発電所建設にお役に立てるよう、日々努力して参ります。

被せフランジ（施工例）

被せフランジ（部材）

また、人の生命線でもある「食」に関して農業分野にも参入しており、これからのビル技研は「測量×エネルギー×食×AI」を駆使して人々のお役にたてる会社作りに努めてまいります。

・会社概要・
社名：㈱ビル技研
所在地：千葉県野田市上花輪1113-8
代表者：佐用功貴
創業：1905年
主な事業：建築・土木・3D測量事業、太陽光発電設備工事（設計・施工・メンテナンス）、土木・造成工事、自社特許製品の開発、製造、販売、農業事業

地域に必要とされる企業として 社会の持続的発展に努める

松野コンクリート工業㈱（中部エリア会員）

弊社は1961年にコンクリート杭の製造メーカーとして創業し、今年60周年を迎えました。太陽光発電事業には、2012年のFIT法施行のタイミングで異業種から参入し、自社工場敷地に岐阜県下初のメガソーラーを設置してメディアにも取り上げられました。試行錯誤を重ねながら、全量および自家消費型太陽光発電設備・ソーラーシェアリング・蓄電池設備・O＆Mなど、自社にて設計から開発・調達・工事・運営までを行い、EPC事業者としてのノウハウを蓄積し、お客様に提供しております。

ソーラーシェアリング/販売物件/岐阜県多治見市

高圧太陽光/自社保有物件/岐阜県揖斐郡大野町

現在は10MW超の太陽光発電設備を自社保有しており、再生可能エネルギー電力の生成による地球環境保護に貢献するとともに、発電事業の実績を通じてお客様へよりよいご提案ができるよう努めております。

持続可能な社会の達成には、環境や社会だけではなく、経済的にも持続可能性が重要であると説かれています。多角的で柔軟な経営で、創業時から受け継がれてきたパートナーとともに成長するという方針のもと、各事業を進めており、これからも顧客第一主義と誠実な経営で、地域に必要とされる企業として社会の持続的発展に努めてまいります。

・会社概要・
社名：松野コンクリート工業㈱
所在地：岐阜県瑞穂市穂積1380
代表者：松野安洋
創業：1961年
主な事業：杭事業、太陽光発電事業、建材販売、舗装工事、電気工事、不動産事業、店舗運営

経営トップ、我が社を語る／会員企業訪問

未来につなぐエネルギー

リフェコ㈱（九州エリア会員）

リフェコ㈱は今年4月1日に日本エコライフ㈱より社名変更致しました。設立当初より、地球温暖化対策を目的とした再生可能エネルギーが普及拡大にシフトすることや持続可能な地域コミュニティの重要性が高まることを想定し、店舗展開を核としたドミナント戦略と、ゆめソーラー直営事業、地域ビルダーとのネットワークを活用した自社リース事業により再生可能エネルギーの普及拡大に推進してまいりました。

そして今、脱炭素化社会にむけて市場が変化するなかで、ビジョンとして掲げている「タフな地域コミュニティ」の実現にむけた「再生可能エネルギーでの地産地消」推進のために、分散型エネルギーシステムの構築にともなう各種事業展開を本格的に着手したいと考えております。

また、弊社は、販売店・施工業者様向けの環境商材のweb卸サイト「楽エネ」を運営しており、ZOOMを活用した商品説明会、買い得情報のメルマガ配信、会員様同士のビジネスマッチング等を実施しております。特にその中で注目されているのが、

自家消費を提案する際の補助電源としてのポータブル蓄電池を有効活用した提案です。ご興味があればぜひご連絡ください。
楽エネホームページ　https://rakuene-shop.jp/

・会社概要・
社名：リフェコ㈱
所在地：福岡県福岡市博多区博多駅南1-3-11 KDX博多南ビル8階
代表者：山森卓夫
創業：1995年
主な事業：環境関連商品の販売・施工および保守管理、エネルギーソリューション、卸販売、リース

20年後の発電所で 絶対必要不可欠なスタンダード

富岳エナジー㈱（関東エリア会員）

わたしたちは2012年より再生可能エネルギーに関わる事業を進めております。施工・O&M・権利買取・中古案件販売等、太陽光発電所の総合的なソリューションを広げるなか、2021年現在ではグループ会社を2社設立。電気保安事業のコスト永続削減・農業を取り入れた発電所のハイブリッド化・発電所取引からスタートできるオーナー支援、これら3つの新しい取り組みを「20年後の発電所では、絶対必要不可欠なスタンダード」として、発電所事業の未来支援に向けて、取り組んでいます。

【電気保安費用、必ず削減します】このキーワードを掲げるグループ会社「HWIND」では、コスト削減の

北海道登別市札内町

山梨県夏狩市

支援策を武器に、事業を拡大しています。

【これからの発電所はハイブリッド化】20年後の未来に向けた、私たちのスタンダードな提案です。グループ会社「富岳ファーム」では、発電所における省スペース・不活用のスペースを農地として活用するソリューションを確立しました。

【未来に向けた発電所ソリューション】培った経験と知識・独自の目線と強みを、未来に向けた発電所運用に取り入れていただけるよう、太陽光発電所の投資家支援・発電所オーナー支援にも取り組んでおります。

・会社概要・
社名：富岳エナジー株㈱
所在地：東京都あきる野市二宮1421-9
代表者：齋藤公士
創業：2013年
主な事業：再生可能エネルギー設備事業、太陽光発電施工、風力発電施工、請負・設計・施工・O&M、再生可能エネルギー物件販売、購入コンサルティング

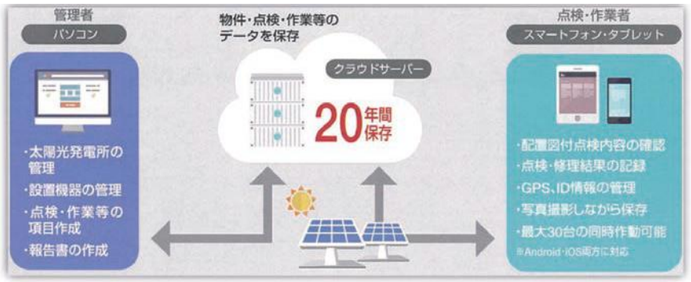
低圧版新発売

太陽光専用クラウド管理システムで報告書作成業務を80％削減

太陽光 プロダクト ニュース

再生エネルギープロジェクトでは、太陽光発電事業の高度化と高効率化を目指して太陽光専用管理システム「SSG20管理システム」を開発・提供しております。

SSG20管理システムとは、当社が実際の点検作業や発電所運営において蓄積したノウハウをもとに開発している、充実のサポートセンター付き管理システムです。太陽光発電所を20年間の安定稼働・点検業務の効率化を実現する、①発電所情報の一元管理　②点検報告書の自動作成　③クラウドで関係者との情報共有機能を備えたアプリケーションです。



現場ではスマートフォンやタブレットで項目・図面を使用して点検・撮影を行い、点検データがクラウドで共有されます。事務所PC側ではボタン１つで指定のフォーマットで報告書が自動作成されるので、いままで時間のかかっていた点検後の移動や撮影画像の貼り付け等の時間が大幅に削減されます。本ソフトはクラウドアプリケーションのため、社外の方とも点検結果の共有・不具合の確認・点検スケジュール確認が簡単に行えます。

【機能一覧】
発電所一元管理、報告書自動作成、データファイル保存、スケジュール一元管理、アラート機能、設置機器情報登録、資料・報告書データのURL化送信、体制表出力

【製品価格】
・高圧・特別高圧→導入費：980,000円（税抜き）
・月額：システム登録総kw×単価
・低圧→導入費：50,000円（税抜き）
・月額：登録件数×3,000円/件・年
※金額はお客様ごとにご相談させていただいております。
※本ソフトはIT補助金対象ツールです。
SSG20管理システムは1か月の無料お試しトライアル実施中！
「サンサンガード 20 お試し」で検索

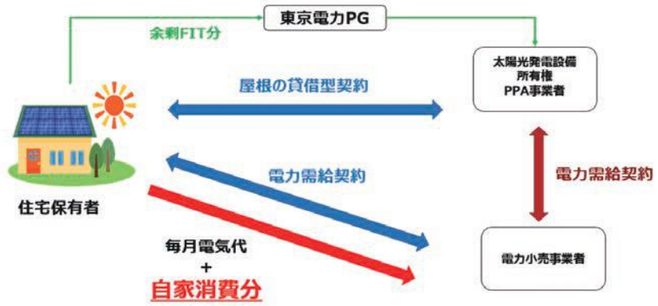
・お問い合わせ・
野原ホールディングス㈱
再生エネルギープロジェクト
E-Mail：ssg20@nohara-inc.co.jp
TEL：03-3357-7761（担当：増田）

太陽光発電電力量を検定付きメーターで計測できる「スマートPVメーター」

太陽光 プロダクト ニュース

近年の固定価格買取制度（FIT）の買取価格下落を受け、屋根貸し太陽光（PPA）を利用した初期投資の必要がない0円ソーラーが最近注目されています。

住宅ソーラーPPAのしくみ



■検定付きメーターで自家消費分を計測

自家消費分を算出するには、「太陽光総発電量－余剰電力量＝自家消費分」このような計算を行う必要があります。

余剰電力量については、電力会社から提供されるBルート情報で確認することができますが、太陽光総発電量を確認するには専用のメーターが必要です。しかし、この専用メーターが高額なために、その費用が重くのしかかり、住宅屋根貸し太陽光（PPA）事業の利回りを下げる要因の１つとなっていました。

そこで、横浜環境デザインではこれまで太陽光業界で蓄積したノウハウを基に、住宅屋根貸しの太陽光発電電力量を検定付きメーターで計測できる「スマートPVメーター」を開発しました。

上記の太陽光総発電量を計測するメーターは、誤った数値を使用して課金してしまうことを防ぐために「計量法」に基づいた厳密なルールに沿った計測を行う必要があります。その基準の検定試験を日本電気計器検定所（JEMIC）で行い、合格したメーターを検定付きメーターといいます。この試験をクリアしたメーターには、認証品の証として検定シールが貼り付けられています。

この厳密な基準をクリアしたスマートPVメーターは、太陽光で発電した総発電量の計測に特化したメーターなのです。

■工事会社の視点で設計、施工も簡単

メーター本体に通信機能を搭載しているため、計測した情報をサーバーへ通信するためのIPアドレスや通信プロトコルなど現場での厄介な設定は必要ありません。設置完了したら電話１本で通信の確認が可能です。

また、スマートPVメーターから送信されるデータはすべて、AES-GCM-128アルゴリズムによって暗号化されており、動的プロセスで保護されています。さらに、このスマートPVメーターは非常にコンパクト（サイズ：24cm×13cm×4.5cm）でありながら強化耐候性を採用していて、塩害地域や温泉地など各電力メーターと同等の環境で設置が可能です。ビス3本で簡単に壁面へ施工でき、あとはパワコンと太陽光ブレーカーの間に配線するだけで設置完了となります。

メーターの固定方法①

メーター背面の壁掛け部分にメータを引っ掛けます。

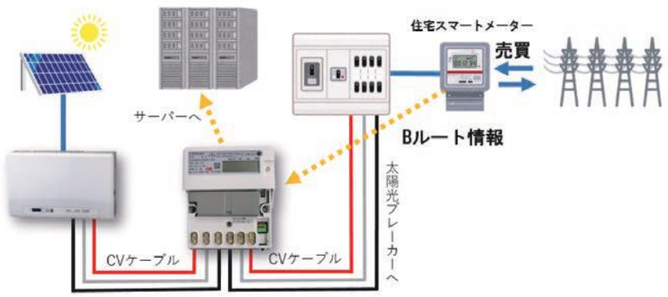
メーターの固定方法②

水平器を当て、メーターの水平を測り、矢印の箇所を木ビスで固定して設置完了。

■10年間の通信費とサーバー利用料込みで10万円以下

同等のスペックを持ったスマートメーターは15万円前後の価格ですが、このスマートPVメーターは、10年間の通信費とサーバー利用料も込み込みで98,000円（税別）をという価格を実現しました。

機器相関図



今後、計量法が改正となった際でも、住宅用PPAを行う際には総発電量データと余剰電力データを収集して自家消費量を計算する仕組み自体は必ず必要となります。現状の太陽光発電システムの仕組みだけではこの点がクリアされないため、計量法が改訂された後もスマートPVメーターの仕組みは必要となると考えられます。

・お問い合わせ・
㈱横浜環境デザイン
神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-20
パシフィックマークス10F
TEL：045-534-6468（担当：高橋）